

平成21年8月13日
原子力安全対策室

志賀原子力発電所2号機
使用済燃料貯蔵プールへのチャンネルファスナの落下について

本日午前8時、北陸電力(株)より、昨夜午後11時頃、定期検査中の志賀原子力発電所2号機使用済燃料貯蔵プール内において燃料集合体にカバー（チャンネルボックス）を装着する作業を実施していたところ、作業用の工具をチャンネルファスナ（燃料集合体にカバーを固定するための金具）の収納容器に接触させ、チャンネルファスナ7個を落下させた旨連絡があった。

北陸電力では、チャンネルファスナの落下による燃料集合体の損傷や使用済燃料貯蔵プールの損傷・機能への影響はないとしており、県と志賀町が実施した立入調査でこの点について、確認を行っている。

北陸電力では、準備が整い次第、落下したチャンネルファスナを回収する予定としている。

本件は、連絡基準Ⅱ「速やかな連絡が必要なもの」に該当するものとして、北陸電力から連絡があったもの。

平成21年8月13日
原子力安全対策室
(直通) 076(225)1465
(県庁内線) 4234